

2024年度 防災工学のすすめかた

土木・環境プログラム 担当 森 友宏

● 講義の目的

情報化社会が進み、災害関連情報が氾濫しているが、われわれ土木技術者はこれらの災害情報がどのように求められているのか、どのような意味を持っているのかを正しく把握し、これら情報を適切に用いて国民を災害から守らねばならない。

防災工学では、各種災害情報が示す意味を学ぶとともに、これらの情報をもとにして、各自がどのような防災対策を施すかの検討を行う。

● 教科書

防災リテラシー 第2版, 森北出版, 著者: 太田敏一・松野泉

● 評価方法

単位認定には、全15回中10回以上の出席を必要とする（JABEE規定）。

評定はレポート（事前レポート3題+最終レポート1題）で決定する。期末試験は実施しない。

レポートの詳細は下記の通り（発題日、〆切日は後日知らせる）。

● レポートの内容

「ある災害（自己設定）」に関して「自分の役割」を設定し、発災前～復旧・復興に至るまでの総合的な防災対策・防災施策をまとめていく。災害の各段階に応じた施策・準備・対応を3回の事前レポートで調査を重ねていき、最終的に総合的な防災対策・防災施策のレポートをまとめる。

事前レポートはA4: 1~2枚程度。詳細は、レポート課題に関する資料を参照。

以上